



サービスの設定

この章は、次の項で構成されています。

- [機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化 \(P.11-2\)](#)
- [Control Center でのサービスの起動、停止、再起動、およびステータスの更新 \(P.11-3\)](#)
- [コマンドライン インターフェイスを使用した、サービスの起動および停止 \(P.11-4\)](#)

機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化

機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化は、Cisco Unified Serviceability の [Service Activation] ウィンドウで実行します。[Service Activation] ウィンドウに表示されるサービスは、アクティブ化されるまで起動されません。

Cisco Unified Serviceability では、機能サービスのみ（ネットワーク サービスではない）をアクティブ化および非アクティブ化できます。必要な数のサービスを同時にアクティブ化または非アクティブ化できます。一部の機能サービスは他のサービスに依存しています。従属するサービスは、機能サービスがアクティブ化される前にアクティブになります。

Cisco Unified Serviceability で機能サービスをアクティブ化または非アクティブ化するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Tools] > [Service Activation] を選択します。

[Service Activation] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、サービスをアクティブにする対象のサーバを選択して、[Go] をクリックします。

選択したサーバについて、サービス名とサービスのアクティブ化ステータスがウィンドウに表示されます。

ステップ 3 [Service Activation] ウィンドウですべてのサービスをアクティブにするには、[Check All Services] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 単一サーバ上で実行する必要があるすべてのサービスを選択するには、[Set Default] ボタンをクリックします。この操作により、必要なすべてのサービスが選択されるだけでなく、サービスの依存関係が確認されます。単一サーバ設定のサービスをアクティブにするには、[Set Default] ボタンをクリックするか、使用するサービスをアクティブにします。

ステップ 5 アクティブ化するサービスのチェックボックスをオンにした後、[Save] をクリックします。



ヒント

アクティブ化したサービスを非アクティブにするには、非アクティブ化するサービスの横のチェックボックスをオフにして、[Save] をクリックします。

サービスの最新のステータスを取得するには、[Refresh] ボタンをクリックします。

追加情報

P.11-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Control Center でのサービスの起動、停止、再起動、およびステータスの更新

Cisco Unified Serviceability の Control Center では、1 つのサーバ上の機能サービスおよびネットワーク サービスについて、ステータスの表示、ステータスの更新、および起動、停止、再起動を行うことができます。

サーバのサービスを起動、停止、再起動する、またはステータスを表示するには、次の手順を実行します。起動、停止、または更新できるのは、1 度に 1 つのサービスのみです。

手順

ステップ 1 起動、停止、再起動、更新するサービス タイプに応じて、次のいずれかのタスクを実行します。

- [Tools] > [Control Center - Feature Services] を選択します。



ヒント 機能サービスは、起動、停止、再起動する前にアクティブ化されている必要があります。サービスをアクティブにするには、[P.11-2 の「機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化」](#)を参照してください。

- [Tools] > [Control Center - Network Services] を選択します。

ステップ 2 [Server] ドロップダウン リスト ボックスからサーバを選択して、[Go] をクリックします。

ウィンドウに次の項目が表示されます。

- 選択したサーバのサービス名。
- サービス グループ。
- サービス ステータス。たとえば、Started、Running、Not Running など (Status 列)。
- サービスが実行を開始した正確な時刻 (Start Time 列)。
- サービスが実行している時間 (Up Time 列)。

ステップ 3 次のいずれかのタスクを実行します。

- 起動するサービスの横のオプション ボタンをクリックして、[Start] ボタンをクリックします。[Status] は、更新されたステータスを反映するように変化します。
- 停止するサービスの横のオプション ボタンをクリックして、[Stop] ボタンをクリックします。[Status] は、更新されたステータスを反映するように変化します。
- 再起動するサービスの横のオプション ボタンをクリックして、[Restart] ボタンをクリックします。再起動に時間がかかることを示すメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
- サービスの最新のステータスを取得するには、[Refresh] ボタンをクリックします。
- [Service Activation] ウィンドウまたは他の [Control Center] ウィンドウに移動するには、[Related Links] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択して、[Go] をクリックします。

追加情報

[P.11-4 の「関連項目」](#)を参照してください。

コマンドライン インターフェイスを使用した、サービスの起動および停止

いくつかのサービスは、コマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して起動および停止できます。CLI で起動および停止できるサービスのリストと、このタスクの実行方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーションガイド』を参照してください。



ヒント

ほとんどのサービスは、Cisco Unified Serviceability の Control Center から起動および停止する必要があります。

追加情報

P.11-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [サービスについて \(P.9-1\)](#)
- [機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化 \(P.11-2\)](#)
- [Control Center でのサービスの起動、停止、再起動、およびステータスの更新 \(P.11-3\)](#)
- [コマンドライン インターフェイスを使用した、サービスの起動および停止 \(P.11-4\)](#)